

デジタルデザイン科

卒業認定の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

■ 育成人材像

- ① 印刷・Web など多様なメディアの制作の知識を身に付け、クロスメディアを意識した広告・宣伝ができる。
- ② グラフィックを制作するアプリケーションの操作技術と、デザインの理論を基盤に、印刷媒体を代表とするグラフィックデザインの職務を遂行できる。
- ③ Web やスマートフォン、デジタルサイネージといったデジタルコンテンツの制作ができる。

■ 身に付ける能力

- ① 印刷物を制作するための知識・技術をもとに Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Adobe InDesign で印刷物の制作ができる。
- ② HTML、CSS および Web 全体に関する知識・技術をもとに Web サイトやバナーが制作できる。
- ③ 3DCG や映像、イラストレーションなどの知識・技術をもとに各種ビジュアル表現ができる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

■ 教育課程編成の方針

- ① 豊かな教育と社会常識を身に付けるために、「就職対策」を各年次に配置する。
- ② 1年次は、グラフィックデザイン分野における基礎知識、Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、Adobe InDesign の基本的操作能力、印刷・Web などの制作知識を身に付けるための専門科目を配置する。
- ③ 2年次は、グラフィックデザイン分野で即戦力として活躍できる実践力を身に付けるための専門科目として、印刷媒体を中心としたクロスメディアの知識、映像・デジタルサイネージの制作技術を修得するための専門科目を配置する。
- ④ 1年次に企業と連携した実習科目を配置する。

■ 授業実施の方針

- ① キャリア教育科目である「就職対策」はオンラインコンテンツを利用した一般常識の学修、履歴書・エントリーシートの記述指導、面接訓練等の実践トレーニングとする。
- ② グラフィックデザイン分野における知識習得を目的とした科目は講義形式で行うことを基本とし、知識の定着のために演習及び課題制作による実習形式で行う。
- ③ コンピュータソフトウェアの操作技術を身に付けるための専門科目は、実習形式で行う。年間30程度の作品を制作し、グラフィックデザイン業界で即戦力として活躍できる実践力を身に付ける。
- ④ 実践力を身に付けるために実施する企業と連携した授業は、グラフィックデザイナーとして必要な技術を修得することを目的として、クライアントとそのユーザーへ貢献する実力を身につけられる内容のデザイン制作を行う。

■ 学修成果評価の方針

- ① 講義科目は、定期試験、小テスト、レポート、授業に取り組む姿勢をもとに総合的に評価する。各科目の評価方法はシラバスに記載する。
- ② 実習科目は、課題の提出状況、作品の完成度、授業に取り組む姿勢をもとに総合的に評価する。各科目の評価方法はシラバスに記載する。